

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】令和5年12月6日(2023.12.6)

【公開番号】特開2022-104216(P2022-104216A)
 【公開日】令和4年7月8日(2022.7.8)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-124
 【出願番号】特願2020-219285(P2020-219285)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 8 3 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 8 L 8 3 / 0 5 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 8 L 8 3 / 0 7 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 8 K 3 / 3 6 (2 0 0 6 . 0 1)
 H 0 1 L 2 3 / 2 9 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 L 8 3 / 0 6
 C 0 8 L 8 3 / 0 5
 C 0 8 L 8 3 / 0 7
 C 0 8 K 3 / 3 6
 H 0 1 L 2 3 / 3 0 F
 H 0 1 L 2 3 / 3 0 R

20

【手続補正書】
 【提出日】令和5年11月28日(2023.11.28)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0059
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0059】

30

本発明の一実施形態において、(B)成分は、(B-1)成分として、レジン状オルガノヒドロジェンポリシロキサンを含み得る。(B-1)レジン状オルガノヒドロジェンポリシロキサンは、好ましくは、

平均単位式(V)： $(R^4_3SiO_{1/2})_a(R^4_2SiO_{2/2})_b(R^4SiO_3/2)_c(SiO_{4/2})_d(XO_{1/2})_e$

(式(V)中、 R^4 は水素原子または同じか若しくは異なるアルケニル基以外のハロゲン置換または非置換の一価炭化水素基であり、ただし、一分子中、少なくとも2個の R^4 は水素原子であり、 $0 < a < 1$ 、 $0 < b < 1$ 、 $0 < c < 0.9$ 、 $0 < d < 0.5$ 、及び $0 < e < 0.4$ であり、 $a + b + c + d = 1.0$ であり、且つ、 $c + d > 0$ である)で表され得る。

40

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0090
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0090】

(C)成分のエポキシ基含有レジン状オルガノポリシロキサン中のケイ素原子結合有機基全体に占めるエポキシ基含有有機基の量は、特に限定されないが、好ましくは1モル%以上であり、より好ましくは5モル%以上であり、さらに好ましくは10モル%以上であり、特に好ましくは15モル%以上であり、また、好ましくは40モル%以下であり、よ

50

り好ましくは30モル%以下であり、特に好ましくは25モル%以下である。なお、エポキシ基含有有機基の量は、例えば、フーリエ変換赤外分光光度計（FT-IR）、核磁気共鳴（NMR）等の分析によって求めることができる。

10

20

30

40

50